

小学生対象の電子回路ペンを使った ワークショップ実施プロジェクト

おっ！とびっくり書くと光る電子回路
ペン体験教室

相模原市印刷広告協同組合では、毎年5月に小中学校など諸団体の広報委員の保護者を対象に広報誌づくりの基礎を学ぶ講習会を無料で開催しています。昨年度から、講習会に参加された保護者の子どもたちを対象に「電子回路ペン」を使って電気の通る仕組みを実験・体験するワークショップを企画しました。そこに本学児童学科の小学校・幼稚園教諭免許取得希望の学生が子どもたちの先生として参加しました。その様子は、平成28年7月21日～31日まで相模原市役所のロビーにて展示発表されました。

また、7月18日に開催された「夢町きぼうプロジェクトー体験する文化祭」に参加し、約100人の子どもたちを対象にワークショップを行いました。夏休みの宿題に役立つよう、ペットボトルドームや回路の図案などの教材を開発しました。

さらに、昨年に引き続き9月16日と20日両日にわたり、相模原市立相原小学校6年生2クラスの理科の授業で電子回路ペンを使った授業を担当し、子どもたちと実際に実験・体験しながら電気の通る仕組みを学びました。



プロジェクト概要

●テーマ

「電子回路ペン」を使って電気の通る仕組みを実験・体験するができる、子ども対象のワークショップを企画・運営する。

●パートナー

相模原市印刷広告協同組合
神奈川県中小企業団体中央会

●担当教員

田尻さやか 助教

●実施期間

2015年5月～2017年3月

子どもたちは「子どもたちにとって楽しい活動は何か」と、常に子どもの視点で新しい教材開発や企画をするように心がけています。

学生が自らこのプロジェクトを振り返って①子どもの立場にたって考える②安全面に配慮する③準備はしっかりと、丁寧に④子どもたちと一緒に楽しむ⑤授業計画に基づき活動を振り返る、と5つの学んだことを挙げています。学生たちは教育実習とは違った機会で、社会で活躍する企業の方と協働し、仲間や子どもたちと共に、考え子どもたちにとって最善の活動とは何か、探求しています。

